

タカノ通信 Vol.50



©Snowman Enterprises Ltd. 2020 Licensed by Plazastyle Co., Ltd.

第68期 中間報告書
2020年4月1日から2020年9月30日まで



株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

当社の第68期第2四半期累計期間の業績ならびに通期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

第2四半期連結累計期間の概況

当第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、経済活動の停滞が継続しております。緊急事態宣言の解除後、一部経済活動が再開され、個人消費・生産に持ち直しの動きも見られますが、感染の収束時期が見通せないことにより、景気は依然として厳しい状況が継続しております。

このような状況において、当社は、全社的な新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しつつ業務を継続

してまいりました。また、緊急事態宣言の発出にともなう顧客企業の営業活動の自粛による影響、顧客企業への移動の制限等による販売の減少に対応すべく、工場の稼働調整や徹底した経費削減等、全社的な観点で固定費用の削減に努めてまいりました。

しかしながら、主に住生活関連機器事業、検査計測機器事業および産業機器事業の販売の大幅な減少により、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,695百万円で、前年同四半期比2,609百万円（25.3％）の大幅な減収となりました。

利益面につきましては、抜本的な経費削減等全社的な収益改善施策に取り組んだものの、販売の大幅な減少による影響により、営業損失634百万円（前年同四半期は営業利益170百万円）、経常損失530百万円（前年同四半期は経常利益199百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純損失は、391百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益107百万円）となりました。



代表取締役社長
鷹野 準



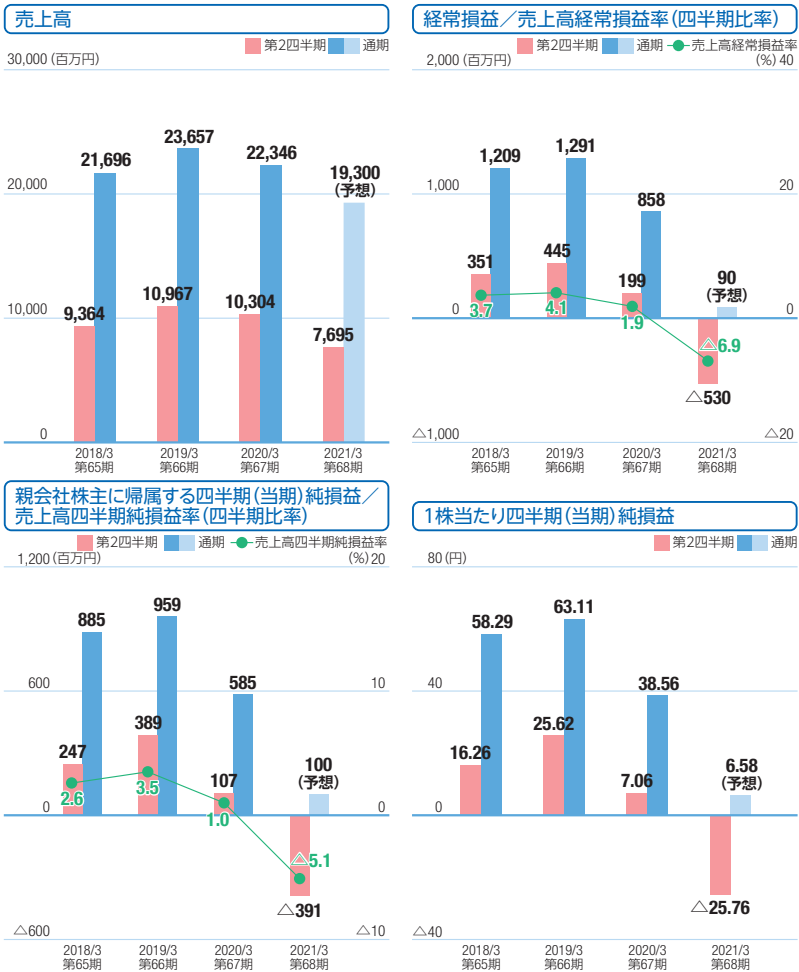
To Our Shareholders

通期の見通し

通期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期はいまだ見通せず、経済環境は依然として不透明な状況が継続するものと思われま。

このような環境のもとで、当社グループでは、全社的な新型コロナウイルス感染予防対策を徹底するとともに、足元の収益の改善のための施策および新常态を踏まえた新商品開発・営業活動等を着実に進めてまいります。

なお、通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響の見極めは困難ではありますが、一定の仮定に基づき、右表のとおり業績予想を作成しております。



通期業績の見通し

	連 結	単 体
売 上 高	19,300百万円 (前期比13.6%減)	17,100百万円 (前期比12.3%減)
経 常 利 益	90百万円	50百万円
当期純利益	100百万円	70百万円

※上記表の連結「当期純利益」は親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。



オンライン展示会開催

今般の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大に伴い、見本市や商談を行うイベント等の開催が困難であるなか、当社ではオンライン展示会を活用し営業活動を行っています。オンライン展示会とは電子媒体を活用したWeb上の展示会であり、人が集まる会場へ行くことなくサービスや商品をご覧くださいことができます。

エクステリア部門では、主力製品であるオーニングの仕様・特徴を動画配信することで、多くの情報をわかりやすく伝えることができ、ご好評をいただいています。画像計測部門では、各種検査装置を展示するほか、当社の技術をお



ようこそ！タカノエクステリアのオンライン展示会へ

伝えるWebセミナー開催を予定しています。またヘルスケア部門では「バーチャル福祉機器展」に参加し、新製品であるバンビーナposi等を出展しました。お客さまからは商品についてお問い合わせをいただくなど、意義のある営業活動になった一方で、オンラインのため来場者へのコンタクトが困難であり、お客さまとのコミュニケーションが進まないという問題が挙げられています。オンライン上でどう実現するのか、今後の課題として取り組んでまいります。

今後ますます変化を続けると予想される社会に対応するべく、引き続き柔軟な営業変革を推進してまいります。

Close Up



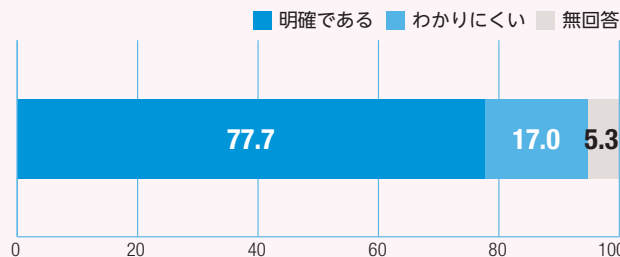
株主アンケート結果のご報告

タカノ通信Vol.49においてお願いをいたしましたアンケートでは、多くのみなさまに、貴重なご回答、ご意見をいただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。

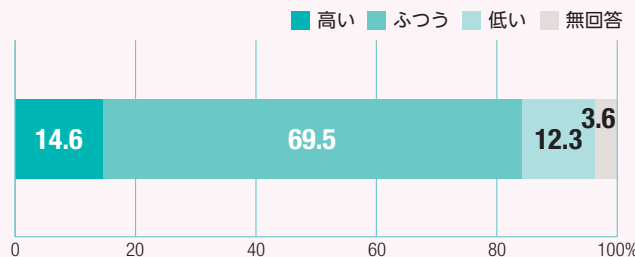
おはがき一枚一枚の向こう側に、株主のみなさまの当社に対

するあたたかな思いを感じ、厳しくも優しい励ましのお言葉からは、私ども一同、身の引き締まる思いでありました。以下に、みなさまからいただきました貴重なご回答の一部をご報告いたします。

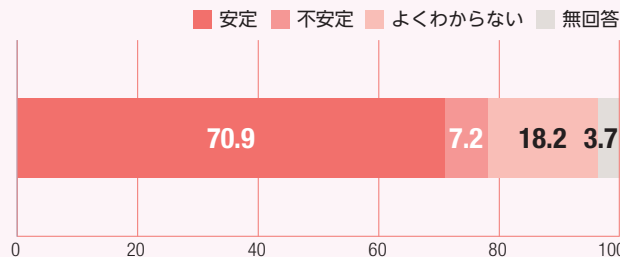
●経営方針について



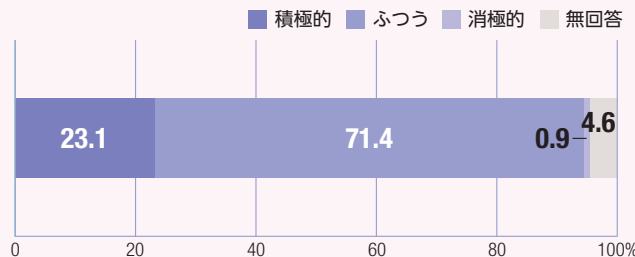
●利益水準について



●財務基盤について



●情報公開について



株主アンケートのお願い

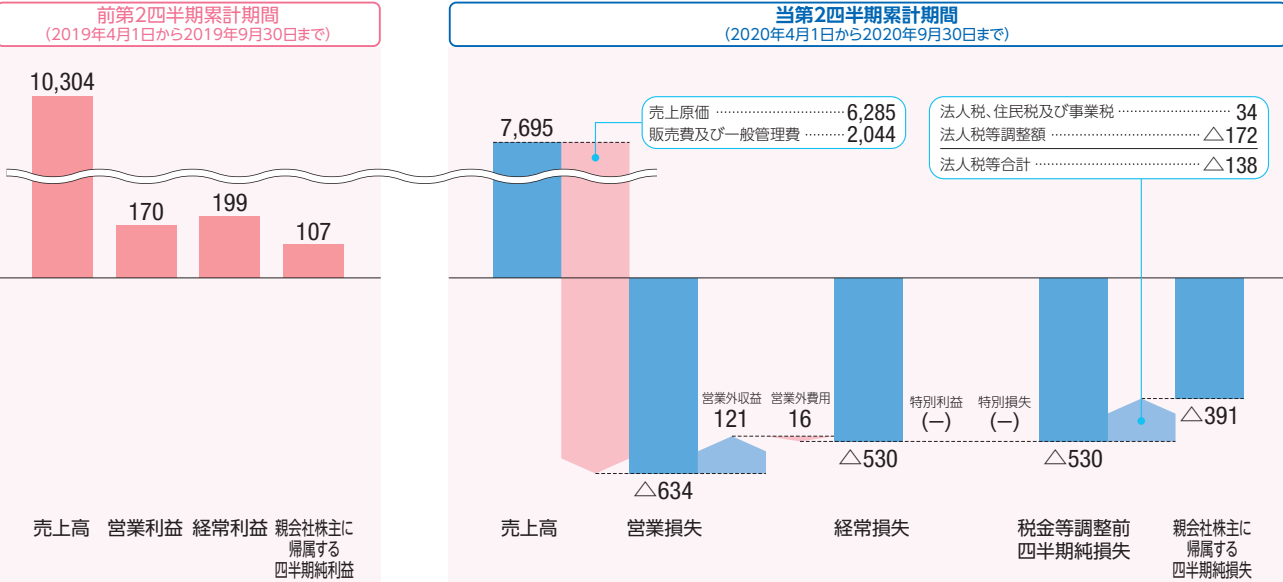
当社では、引き続き株主アンケートを実施させていただき、みなさまのご意見・ご要望等を今後のタカノ通信の編集に活かすとともに、より良いIR活動の実施に活かしてまいりたいと考えております。次回のアンケートは次号Vol.51に同封いたしますので、みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。



四半期連結決算概要(要旨)

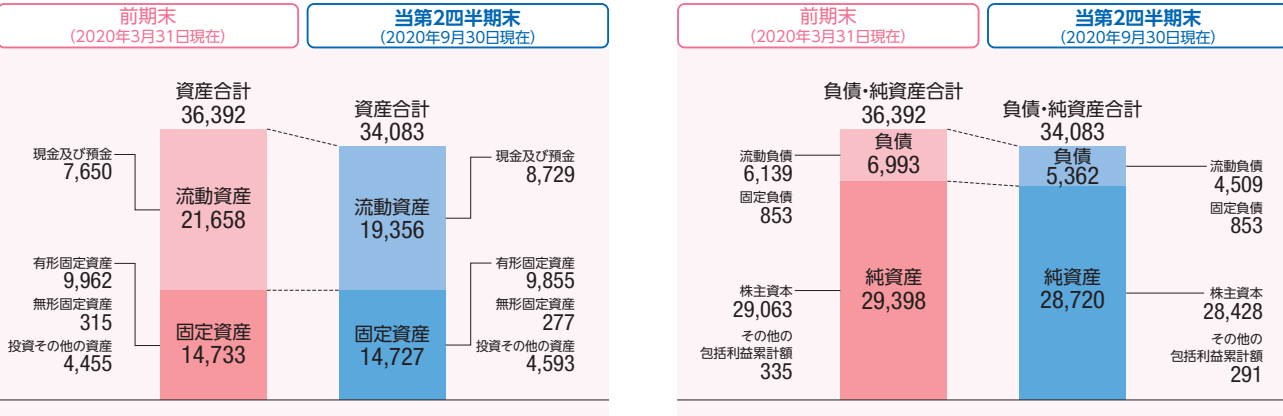
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



連結貸借対照表の概要

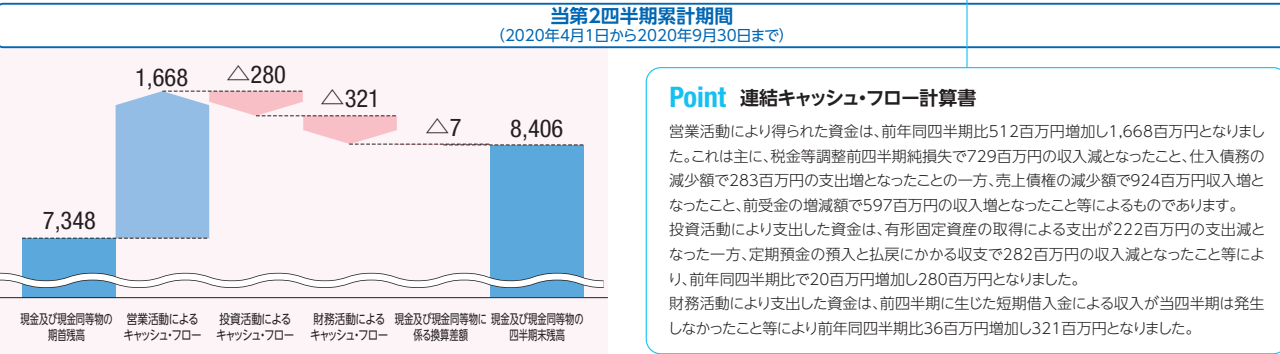
(単位：百万円)



Consolidated Financial Statements

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

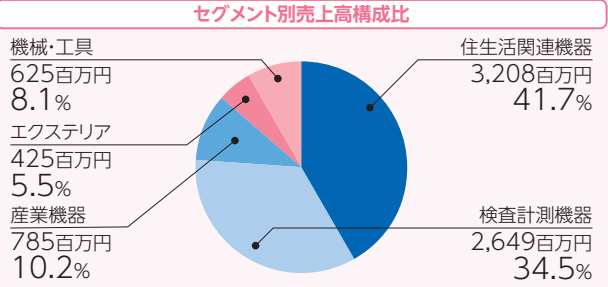
(単位：百万円)



セグメント別概況

(単位：百万円)

	売上高(外部顧客への売上高)			セグメント損益		
	前第2四半期	当第2四半期	増減率	前第2四半期	当第2四半期	増減率
住生活関連機器	4,255	3,208	△24.6%	△107	△432	－
検査計測機器	3,779	2,649	△29.9%	165	△200	－
産業機器	1,015	785	△22.6%	52	△9	－
エクステリア	516	425	△17.7%	29	△7	－
機械・工具	738	625	△15.2%	22	18	△19.3%
セグメント間取引消去	－	－	－	8	△3	－
合 計	10,304	7,695	△25.3%	170	△634	－





会社データ（2020年9月30日現在）

Corporate Profile

会社概要

商号 タカノ株式会社
本社所在地 長野県上伊那郡宮田村137
創業 1941年7月1日
設立 1953年7月18日
資本金 20億1,590万円
事業内容 事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、医療・健康福祉機器の製造ならびに販売
従業員数 559名
上場取引所 東京証券取引所市場第一部

グループ会社

- 株式会社ニッコー
住所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 工具・器具機械等の仕入販売
資本金 90百万円
- タカノ機械株式会社
住所 長野県上伊那郡宮田村
事業内容 省力化機械の製造販売
資本金 50百万円
- 台湾鷹野股份有限公司
住所 中華民国台中市
事業内容 検査装置の保守サービス
資本金 20百万台湾元
- 上海鷹野商貿有限公司
住所 中華人民共和国上海市
事業内容 オフィス椅子等の仕入販売
資本金 50万米ドル
- 香港鷹野國際有限公司
住所 中華人民共和国香港特別行政区
事業内容 エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売（輸出入）
資本金 1百万香港ドル
- Takano of America Inc.
住所 米国カリフォルニア州トーランス市
事業内容 エレクトロニクス製品の仕入・販売
資本金 80万米ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の子会社です。

役員

代表取締役社長 鷹野 準
専務取締役 鷹野 力
常務取締役 小田切 章
常務取締役 大原 明夫
取締役 久留島 馨
取締役 臼井 俊行
取締役 玉木 昭男
取締役 下島 久志
取締役 植田 康弘
取締役（非常勤） 黒田 康裕
取締役（非常勤） 貫名 清彦
社外取締役 鈴木 浩
取締役（監査等委員） 高嶋 厚
社外取締役 長谷川 洋二
社外取締役（監査等委員） 小松 哲夫

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



<http://www.takano-net.co.jp>

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2020年度の株主優待は、2020年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは下記の6点の商品のなかから1点お選びいただき贈呈いたします。なお、商品は12月中旬*までに発送する予定です。
100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、12月上旬に当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」をお送りいたします。

※「旬の時期」にお送りするため「りんご」「長いも」は発送時期が前後することがございます。



A. ワイン・ウイスキーのセット B. 信州りんご



C. 野沢菜漬け D. 信州の長いも



E. 信州富士見高原ハム・ソーセージ F. 信州そば

株式の状況（2020年9月30日現在）

Stock Information



●株式・株主の総数

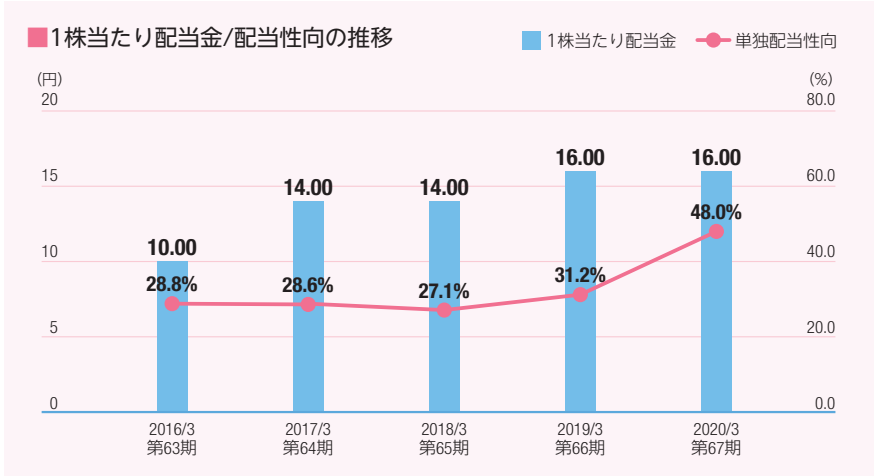
発行可能株式総数 50,000,000株
発行済株式総数 15,721,000株
株主数 10,018名

●大株主

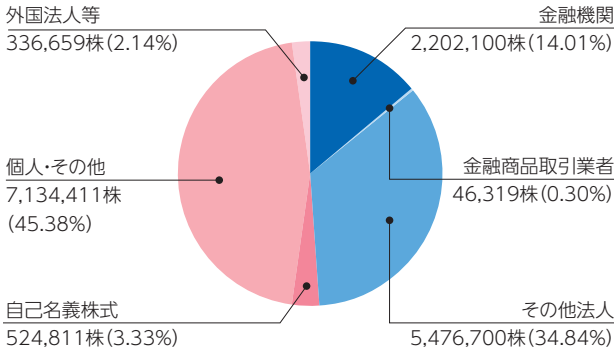
株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	14.15%
日本発条株式会社	2,151,500株	14.15%
堀井 朝運	1,487,400株	9.78%
株式会社鷹山	1,135,000株	7.46%
株式会社日本カストディ銀行	551,400株	3.62%
水元 公仁	367,000株	2.41%
一般財団法人鷹野学術振興財団	330,000株	2.17%
鷹野 力	298,000株	1.96%
タカノ取引先持株会	296,400株	1.95%
株式会社八十二銀行	283,900株	1.86%

(注) 1. 当社は、自己株式を524,811株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式(524,811株)を控除して計算しております。
3. 日本発条株式会社の持株数には、同社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,000千株(持株比率6.58%)を含んでおります(株主名簿上の名義は「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託日本発条口再信託受託者資産管理サービス信託銀行株式会社」であります。)

●配当金および株価等のデータ



●所有者別株式の分布状況



株価

602円

単元株式数

100株

必要最低投資金額

60,200円

上記は2020年9月30日の終値を基に算定しております。



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については毎年3月31日 中間配当および株主優待については毎年9月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
同連絡先	
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
(公告掲載アドレス)	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定(※)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711 (通話料無料) [手続き書類のご請求方法] ○電話によるご請求 0120-232-711 (通話料無料) ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufig.jp/daikou/
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人

(※) 特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

NAGANO trend 39

「～三州街道の宿場町～ 宮田宿」

当 社本社所在地に隣接する村道は、かつて宮田宿と呼ばれる宿場町でした。宮田宿は全長300メートルほどの凝縮された宿場町であり、1649～1659年に整備されたといわれています。三州街道の難所である大田切川を控え、飯田藩主の参勤交代の宿泊地として選定された事で多くの人が宮田宿を利用しました。飯田藩主の堀氏や旗本などが宿泊したとされる本陣は、三州街道で唯一現存する本陣建築の遺構として、現在は宮田村ふれあい広場に移築保存されています。

当時の古絵図には40軒を超える屋敷地が描かれ、旅籠、茶屋、料亭、酒屋などさまざまな商家が立ち並び、大変賑わっていたと考えられます。その後鉄道の開通により徐々に宿場としての機能は失われましたが、現在も江戸期や明治期に建てられた土蔵、町屋などが残っており、当時の暮らしをうかがうことができます。

建物の老朽化や生活の変化により次世代への継承が課題となっているなか、宮田村ではこのような地域資源を守り、活用するまちづくりに取り組んでいます。



大正10年頃の宮田村（喜多屋コレクション：宮田村インターネット博物館提供）